

はまY U



白良浜のライトアップ 撮影:看護師 竹原正人

Vol.
16
2010.冬号

CONTENTS

理念・基本方針	2
前立腺がんについて	2~3
緩和ケアチームのご紹介	4~5
栄養サポートチームのご紹介	6
在宅療養支援診療所として	7
(西富田クリニック)	
健康教室「ヒブワクチンって?!」	8
院内倫理研修会	8
「小児救急」講演会	9
病棟秋祭り	10
白浜町議会・白浜町との懇談会	10
管理栄養士 おすすめのレシピです	11
患者さまからの声	11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表



白浜はまゆう病院は2011年3月1日より
敷地内**全面禁煙**となります。

膠原病・糖尿病専門外来

診療日 / 火・木曜日 午前
受付時間 / 午前8時半~11時半
診療時間 / 午前9時~12時
担当 : 伊藤 揚 部長

腎臓内科専門外来

診療日 / 火曜日 午前
受付時間 / 午前8時半~11時半
診療時間 / 午前9時~12時
担当 : 齊藤 豊 所長



薬剤師・看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士 募集中

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。

理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にしたい医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざというときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

みんな
だれでも
いつでも
安心して
利用でき
ます。



ご存知ですか？ 前立腺がん

～前立腺がんは早期発見・根治が可能です～

最近、前立腺癌という言葉を目にする機会が多くなったと思います。身内や知人が前立腺癌にかかったという話を聞きますか？マスメディアでもよく取り上げられているようですが・・・

よく目にするのも当然で、前立腺癌にかかる人は増えています。更に今後も増えることが予測されています。1年間に前立腺癌にかかる人の数で比較すると、2020年では1995年の6倍になります。

なぜ、前立腺癌にかかる人は増えているのでしょうか？理由は3つあります。

- ①高齢化社会—前立腺癌は高齢になればなるほど増えます。
- ②食の欧米化—前立腺癌は動物性脂肪をたくさん食べれば増えます。
- ③PSA検査の普及—前立腺癌は簡単な検査を機に見つけることが出来ます。

3番目の理由は、前立腺癌の人が増えているのではなく、癌の人をしっかりと見つけるということです。たくさん見つかるから、結果として増えているのです。

増加している前立腺癌についてですが、情報が錯綜し、不安や焦燥を感じている人がいるのではないのでしょうか？前立腺癌について知っていただきたいことを列記します。



泌尿器科医長
柏木 秀夫

50歳になったら定期的にPSA検査を

- ①前立腺癌は男性特有の癌です。高齢になればなるほど増えますが、40歳代での報告もあります。
- ②早期発見が可能です。そのためにPSA検査を受けて下さい。40歳代で一度、50歳以上で毎年PSA検査を受けてください。
- ③早期の前立腺癌は症状が出ません。早期発見のためにはPSA検査が必要です。早期の前立腺癌は根治が可能です。

PSA検査とは

- ④PSA検査は血液検査です。特別な検査ではなく、通常の医療機関でどこでも受けることができます。
- ⑤通常の前立腺癌は、経過が緩徐です。また、治療がよく効きます。たとえ進行した前立腺癌であっても他の癌と違ってすぐに命に係わることは少ないです。



ブルークローバー・キャンペーンは、日本で急増している「前立腺癌」の「早期発見・適切治療」の大切さを伝える活動です。

前立腺がんの治療

- ⑥進行した前立腺癌の治療はホルモン療法が主になります。ホルモン療法は通常よく効きます。
- ⑦前立腺癌は進行すると、他の臓器に転移します。リンパ節や骨によく転移します。
- ⑧前立腺癌の治療効果判定にPSA検査が極めて有効です。治療が有効なとき、PSA値は下がります。
- ⑨前立腺癌でホルモン療法を受けられている方は、脂肪が蓄えられ肥満になりやすいです。また、筋骨が弱ります。動物性脂肪の少ないバランスの良い食生活が推奨されます。また、日常から運動をして筋骨を鍛えることが重要です。

予防のために

- ⑩前立腺癌を予防するためには、食生活の見直しが必要です。動物性脂肪の摂取量を減らし野菜をしっかりと食べることをお勧めします。
- ⑪前立腺癌と前立腺肥大症は違います。前立腺肥大症では排尿に関する症状が出ますが、前立腺癌では進行しないと症状は出ません。しかし、両者は合併することがあります。前立腺肥大症の経過途中に前立腺癌が発見されることはよくあります。

大事なことは早期発見・食生活・運動です。早期発見のために検診を自ら受けること。動物性脂肪の摂取量を減らし野菜をしっかりと食べること。運動を心がけ肥満にならないようにすること。これは健康な生活を長く送るために必要なことで、前立腺癌に限ったものではありません。自分の体は自分で努力して管理するという思いがないとなかなか出来ませんが、頑張りたいものです。

泌尿器科外来 受付:午前8:30～11:30

	月	火	水	木	金	土
担当医	柏木	柏木	柏木	柏木	柏木	当番医 (大阪市立大)

緩和ケアサポートチームの活動

～よりよい“生”を考える～

当院では患者様によりよい緩和ケアを提供するため、緩和ケアサポートチームを設置し、対応しております。チームは医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、社会福祉士、臨床心理士と、多職種が関わることでそれぞれの専門性を活かした緩和ケアを提供できるよう活動しています。



心理相談室 臨床心理士
森口 浩司

緩和ケアとはがんなどの生命を脅かす病気に対して、患者様とその家族の生活の質を維持し、向上させていくための治療とケアのことです。病気やそれに伴うからだの痛み・こころの痛みに対して、その痛みを軽減し、予防するための治療とケアを提供し、患者様が前向きに病気と向き合っていけるようにサポートしていきます。

緩和ケアを行う際に、身体面だけではなく、様々な面から患者様をサポートしていくために緩和ケアサポートチームがあります。緩和ケアサポートチームとは多職種から構成され、病気に対する治療や病気の進行に伴う様々な苦痛を軽減することを目的としたチームです。

当院の緩和ケアサポートチームは様々な職種から構成されており、それぞれのスタッフが業務の中で得た情報を持ち寄り、月2回会議を開いています。その情報をチーム内で共有し、それぞれの専門性から意見を出し合い、対象の患者様がよりよい生活を送っていけるためにはどのようなケアを提供していけばよいか検討しています。



緩和ケアサポートチーム会議

また、紀南地方の緩和ケアを考える有志の会「すずらん」という緩和ケアに関する勉強会があり、その勉強会を当院で開催する際には緩和ケアサポートチームが中心となって、企画・運営を行っています。

命を脅かす病気に罹るということは身体的だけでなく、心理的、経済的、社会的な苦痛を伴います。その苦痛をできるだけ軽減するにはどうすればよいか、チームのメンバーそれぞれが日々の業務や勉強会などを通して研鑽に努め、患者様と共に歩んでいけるよう活動しています。

●心の相談所(カウンセリング)のご案内●

白浜町の委託を受け、白浜町民の方を対象にした、心の相談所を実施しています。家族内や職場、学校、地域など日常生活の中にある様々な心理的問題などについて、心の健康(メンタルヘルスケア)をはかるため、臨床心理士が無料で相談に応じます。(要予約制)

エンゼルケア講演・講習会を実施

看護師 名越 幸

10月23日「ラフォーレ南紀白浜」において、緩和医療を考える有志の会「すずらん」で、～エンゼルメイクを考える～と題して、関西エンゼルメイク研究会代表の鎌田智弘先生をお招きして特別講演が開催され、近隣の病院・施設・一般の方50名が参加されました。講演の前に白浜はまゆう病院でエンゼルメイクの講習も行いました。

講演は、①すべての人におこる死後の変化について ②患者様におこる死後の変化について ③エンゼルメイクの注意点 ④皮膚トラブル等への対処 ⑤グリーフケアとしてのエンゼルケア・エンゼルメイクの手順についてという内容でした。



エンゼルメイクの講習中

エンゼルメイクは、亡くなられた患者様に行うメイクのことです。

患者様が亡くなられ退院されるまでの少しの時間ですが、患者様にまつわる生前のお話しをしながらご家族と看護師と一緒にメイクをして穏やかな表情にしてさし上げることは、闘病生活を支えてこられ残されたご家族・看護師にとっても癒しのひとときになるということでした。

今回の講演は、当院だけでなく紀南地方でのエンゼルケアを見直す貴重な機会となりました。

緩和ケア外来

白浜はまゆう病院の緩和ケアチームは2001年から活動しています。メンバーは医師、薬剤師、病棟看護師、外来看護師、訪問看護師、リハビリスタッフ、心理療法士、栄養士、医療ソーシャルワーカーといった多職種のスタッフで編成されています。月2回のチーム検討会を行い、患者さんを様々な面からサポートするために意見交換などを行っています。

すべての患者さんに心身両面のトラブルは起こりうるものですが、特に進行がん患者さんには多くの問題が起こっています。病が進行するに連れて起こる身体の痛みを無くすことはとても大切です。医療用麻酔や鎮痛補助薬など有効に使って痛みを緩和します。

そして、緩和ケアにとって患者さんやご家族の心のケアはひじょうに大切な課題です。不安や悩み、抑うつや哀しみなどいろいろな苦しみを和らげる為に私たち医療者は努力しなくてはなりません。相談しやすい窓口として緩和ケア外来(予約制)も開いています。

当然の事ながら、死は全ての人に必ず訪れるものです。人生の最終章をどのように迎えるかはとても重要なことであり、それを様々なスタッフがチームとしてサポートすることが緩和ケアチームの役割です。私たちに何ができるか、何をすべきかを常に考えながら週末期患者さんを支えていきたいと思っています。



白浜はまゆう病院 副院長
伊藤 浩二

緩和ケア外来(完全予約制) 水曜日 午後2:00～5:00 担当医:副院長 伊藤浩二

栄養サポートチームをご存知ですか?!

～栄養管理におけるチーム医療～

栄養サポートチーム担当師長 瀬田 直美

白浜はまゆう病院では2010年7月より急性期病棟に栄養サポートチームを置き、栄養療法の活動を強化しましたのでご紹介します。

1. 栄養サポートチーム (NST: Nutrition support team) とは?!

他職種が協同して、さまざまな疾患を抱えた個々の症例に応じて、適切な栄養管理を行う医療チームです。

2. なぜ必要?!

栄養管理はすべての疾患治療のうえで共通する基本医療の一つです。栄養管理をおろそかにすると、治療もその効果を発揮できず、栄養障害に起因する種々の合併症を併発してしまうことがあります。



栄養サポートチームメンバー

3. どんな役割?!

栄養障害のリスクの高い方に対し、感染症、褥瘡、嚥下障害や誤嚥性肺炎などの発生を予防し、治療の促進、早期の退院、再入院の抑制に繋げていけるよう急性期からターミナル期に至るまでの医療・療養過程において、経口栄養、経腸栄養（経鼻チューブや胃瘻）、静脈栄養に至るまでの一貫した形での栄養管理を、職種の壁を越え知恵を持ち寄ってサポートします。

4. どんな活動?!

栄養介入のステップ

i 栄養管理が必要か否かの判定…低栄養のリスクの高い方や栄養障害の方を発見!

- ①医療者による見た目の評価⇒体重や食物摂取の変化・消化器症状・機能障害・浮腫・褥瘡など身体状況
- ②データの評価⇒身体計測・血液・尿・生化学検査etc.)



病棟廻診の様子

ii もっともふさわしい栄養管理法で、適切な栄養管理が出来ているかを検討し提案

- ①他職種によるミーティング・カンファレンス・廻診を週1回程度実施
- ②栄養補給量・栄養補給方法・治療目標を計画

iii 定期的な評価と効果判定…医療チームの力が合理的に効果に発揮できているかなどを判定

- ①計画の修正の必要性和目標の達成による介入終了などを判断する

現在、医師 看護師 管理栄養士 薬剤師をはじめとし、リハビリスタッフ（理学・作業・言語療法士）など関連スタッフと褥瘡対策、感染対策、緩和ケアなどを専門とするチームとの連携において専門分野の観点から、より詳細で安全な栄養治療を提案できるよう、また在宅・他施設に移行する方への指導や準備における情報提供を心がけ活動しています。「お食事たべました?!」との問いに、「何が食べたい! 食べられない! 食べたくない!」などありのままの思いをお話してください。どうして食べられないのか? どうしたら食べられるようになるのか? 理想はどこにあり、なによりあなたがどうありたいのか? 各職種がもつ専門的な知識・技術を栄養療法に取り入れ、一緒に考え、目指した効果を喜びとし実感していけるよう努めてまいります。

在宅療養支援診療所として

～穏やかな療養生活をすごせるようにするために～

西富田クリニック 看護師長 宮本 美紀

人生の最後の時期をどのように過ごしたいのか、患者様それぞれの都合でいろいろな選択肢があると思いますが、住み慣れた家で自分らしく過ごしたい、また最期を穏やかに迎えたいと思う人は年々増えています。しかし、設備や人員も整った病院ではなく、自宅で終末期を迎えたいという望みがあっても、必要な介護ができるのか費用がどのくらいかかるのか、等々不安も強いと思います。



在宅で自分らしくすごすためには、介護力が必要になります。家族の協力が重要なことはもちろんのことですが、今は介護保険という制度があります。介護保険を利用することでヘルパーさんに家事を助けてもらうことや看護師が訪問してくれるなど、さまざまなサービスを受けることができます。この制度は患者さまご本人にも、またご家族にも力強い味方になってくれると思います。

さらに在宅医療の充実のために整備された制度として、在宅療養支援診療所があり、西富田クリニックもその届出をしています。これは医学的な診療を行うだけでなく、患者様の病状や体調を管理し責任を持つかかりつけ医として24時間いつでも困ったことに対応し、在宅生活のお手伝いをする診療所です。患者様やご家族に安心して在宅で過ごしていただくためには医療・介護・福祉の連携を欠かすことはできません。

西富田クリニックは、在宅療養支援診療所として、同財団内の白浜はまゆう病院や訪問看護ステーションや又外部の各関係機関と連携してチーム医療のかなめの役割を目指しています。休日や夜間もいつでも連絡が取れるような24時間体制で、患者様、ご家族の不安が少しでも解消できるよういつでも訪問をしたり相談にのれるよう対応しております。必要であれば、自宅での点滴治療や処置等も行ったり、時にはご家族のお手伝いをしながら旅立ちを一緒に見守ることもしています。

みんなの思いをひとつにすれば、またお互いが思いやり、支えあえば、穏やかで自分らしい生活ができ、住み慣れた家で最期を迎えられるのではないかと思います。

西富田クリニックでは、そういう想いを持って、在宅療養のお手伝いをしています。

在宅療養をお考えの方また在宅療養について何か心配事やお困りのことがある方など、どなたでも、お気軽にお声をかけてください。穏やかな療養生活の時間を少しでも長く過ごせるようにお手伝いできたらと思っています。

西富田クリニック 診療担当表 TEL.45-3600

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内 科	西	松尾	松尾・井神	西	西	西	木下	－	西	西
整形外科	清水	清水	－	清水	清水	岩切	－	－	清水	－
小 児 科	－	宇佐美	宇佐美	宇佐美	－	宇佐美	宇佐美	－	－	宇佐美

健康教室を開催

～ヒブワクチンって?!～

講師 榎本産婦人科小児科 副院長 番 浩先生

白浜はまゆう病院では、2010年10月17日当院本館2階会議室において、地域ケア室の主催で健康教室を開催致しました。

榎本産婦人科小児科 副院長の番浩先生をお招きし「ヒブワクチンについて」講演していただき、15名の方に参加していただきました。

ヒブ髄膜炎は、インフルエンザ菌b型(ヒブ)と言う細菌が原因で予後の悪い感染症のことです。日本では毎年600人の乳幼児がヒブ髄膜炎を発症しており、そのうち、約5%が死亡、約25パーセントが重い後遺症に悩まされているとのことでした。

ヒブワクチンは、髄膜炎を予防する効果的かつ有効なワクチンで任意接種が出来ます。接種料は1回、8,500円となっています。

白浜町では、2歳未満の乳幼児については接種1回につき3,000円の補助が受けられます。

ワクチンへの詳しいお問い合わせは、白浜はまゆう病院をお願いします。



講演会参加者からの感想：アンケートより

- ワクチンの大切さがわかりました。
- ヒブについてよく理解できた。
- ママさんたちの中でヒブワクチンについて詳しく知っている人が少なく話を聞いてよかった。

院内倫理研修会を開催

白浜はまゆう病院教育委員会は2010年10月19日(火)午後5時45分から当院本館2階会議室にて、山本宏先生をお招きして院内医療倫理研修会を行いました。

山本宏先生は和歌山県立医科大学名誉教授であり、関西医療大学講師も勤められており、昨年度に引き続いて講演して頂きました。今年は「患者は何を病むか」をテーマに昨年の講演内容にも触れながらお話し頂きました。

参加者した職員からは、「生きることは共鳴すること」「実際に医療におけるコミュニケーションへの手掛かりが少し分かった」「患者様に納得し、喜んでもらえる看護ができるように精一杯努めたいと思う」といった、感想が寄せられました。

医療倫理という少し難しい演目でしたが、山本先生の時折笑いを誘ったり年齢を感じさせないテンポ良い講演内容に、参加者は皆、真剣な眼差しで聴講しており、90名の参加がありました。



研修会の様子

2011年3月1日より
敷地内全面禁煙
白浜はまゆう病院

現在一ヶ所に喫煙所を設け、喫煙所内でのみ喫煙可能とさせていたでしたが、受動喫煙防止のため、2011年3月1日より白浜はまゆう病院の敷地内は全面的に禁煙とすることになりました。

喫煙者のみなさまも、禁煙化にご理解ご協力をお願いいたします。

小児救急の講演会が開かれました

～子供の救急について 現状と対応 受診のタイミング～

2010年9月8日(水)、白浜町消防本部新庁舎にて古久保和洋小児科医長による小児救急についての講演会が開かれました。これは、9月5日から11日までの救急週間における救急啓発活動の一環として白浜町消防本部が企画したもので、当日は小さなお子さんを持つ母親の方々が多数来場してくださいました。

講演は、この地方での小児医療・小児救急の現状および受診・救急車要請の判断基準をメインとして行いました。

土日・祝日の小児医療を担当する医療機関としては、田辺広域休日急患診療所がありますが、休日が多い1月は636人、5月は533人と患者数が大変多いそうです。当院の時間外受診される小児患者の割合は13.8%であること、また白浜町消防本部で救急搬送した小児患者の割合は9.5%とのことで意外に高いことが分かります。

受診すべき状態としては意識障害、喘息や誤嚥があげられますが、それぞれの疾患についてどのような状態であれば救急車を呼ぶべきか説明しました。その他、発熱・腹痛・嘔吐・下痢などよくある疾患についても、対処法や受診のタイミングについて説明しました。



小児救急について講演する古久保医師

講演終了後は出席者から質問が寄せられ、活気のある講演会となりました。

お子さんが病気になったときに、今すぐ受診すべきか様子をみてよいのか、また救急車を呼ばないといけないのかを的確に判断するのは難しいと思いますが、今回の講演がその判断の一助になれば幸いです。

小児科医師の不足が取りざたされ、お子さんが病気にかかったときに不安を覚える方も多いと思います。当財団では白浜はまゆう病院・西富田クリニック・日置診療所にて小児科外来を行っておりますので、困ったときはお気軽にお問い合わせください。



小児科診療時間のご案内

2010年12月1日現在

	白浜はまゆう病院 (TEL 43-6200)		日置診療所 (TEL 52-2002)	西富田クリニック (TEL 45-3600)		
曜日 受付時間	午前 (8:30～11:30)	午後 (13:00～17:00)	午前 (8:30～11:30)	午前 (8:30～11:30)	午後 (14:00～16:30)	夕方 (16:00～18:30)
月	古久保	古久保	宇佐美	—	—	宇佐美
火	古久保	古久保	—	宇佐美	宇佐美	—
水	古久保	—	宇佐美	—	—	宇佐美
木	古久保	古久保	—	宇佐美	—	—
金	古久保	古久保	宇佐美	—	—	宇佐美
土	古久保	—	—	—	—	—

療養病棟の秋祭り

今年は、新館各階と本館3階のレクリエーション委員が企画したお祭りを10月3日(日)に開催しました。療養病棟では「患者様が季節を感じ、気分転換をしていただく。地域との交流を深める。」を目標として、毎年夏に行っていました。

今回は、時期を夏から秋に変更し、初の屋外で実施の予定で早くより段取りを進めていたのですが…。当日は残念な事に雨模様の天気となり雨足も強まり、例年どおりの屋内での実施となりました。

しかし、今年も多くの患者様、家族様に参加して頂く事ができました。各階では、焼きソバやミックスジュースと出し物に趣向を凝らし、今年は総務課も参戦! 大人のこだわりコーヒーの良い香りを会場に漂わせてくれました。これがまた激ウマの味! 他の病棟も負けじとこだわりの味付けで勝負しました。

参加して頂いた患者様や家族様からは「おお、なかなかおいしかったでえ」など、色々な感想を頂戴しました。

飲食やゲームをされているときの患者様の表情を見ると、毎年ではありますが、たいへんやりがいを感じます。患者様、ご家族の方々に楽しんで頂けるように、来年こそは初の屋外で、サプライズな催しも企画出来るように盛りあげていきたいと思えます。



そろいのハッピーを着て



お祭り会場の様子



白浜町議会・白浜町との懇談会

2010年8月31日(火)午後5時より、白浜町議会・白浜町役場・財団関係者33名が出席し懇談会が行われました。

本財団より、2009年度の経営状況や2010年度事業計画の概要、白浜はまゆう病院新本館建設計画について説明を行いました。外部監査を受けている米本合同税理士法人の肥田直樹公認会計士により、財団の経営分析についてご説明をいただきました。肥田公認会計士の説明によって、財団の財務状況が理解できたと好評をいただきました。

また、新本館建設計画による病棟運営方法等について、活発な意見交換が行われました。

お忙しい中ご出席いただきました白浜町議会議員・白浜町役場職員の方々、ご指導ありがとうございました。



懇談会の様子

私たちが
おすすめする

カラダにいい とっておきレシピ

第8回

～かぼちゃのポタージュ&里芋コロッセ～

ようやく秋めいて来た今日この頃、季節の変わりめに体調を崩れてはいないでしょうか？

今回は、かぼちゃ・里芋を使用したメニューを2品紹介致します。

かぼちゃのポタージュは自然の甘みが懐かしい1品、里芋のコロッセは揚げたてのあつあつはもちろん、冷めても美味しい1品です。



食養科副主任・管理栄養士
玉置 公子

かぼちゃのポタージュ

<1人分>

かぼちゃ……………	100g	牛乳……………	50cc
玉葱……………	20g	クリーム(植脂)…	50cc
バター……………	6g	食塩……………	適量
コンソメ……………	3g	こしょう……………	適量
水……………	100cc	きざみパセリ……	適量

栄養価

エネルギー……………	338kcal	脂質……………	26.6g
水分……………	274ml	炭水化物……………	18g
蛋白質……………	7g	食塩……………	1.9g

作り方

- ①かぼちゃは種とワタを除き、皮をむいて薄切りにする
- ②耐熱ボウルにペーパータオルを敷き、かぼちゃを入れてラップをかけ、電子レンジで軟らかくなるまで加熱し、ミキサーにかけペースト状にする
- ③玉葱はみじん切りにする
- ④鍋にバターを熱し玉葱を炒める
- ⑤④の鍋にかぼちゃ、スープを加え煮立てる。アクを取り、少し煮たら牛乳と生クリームを加えてひと煮たちさせ、塩コショウで味を調える
- ⑥器に盛り、好みでパセリを散らす



里芋コロッセ

<10個分>

里芋……………	380g	炒め油……………	小さじ1
だし汁……………	100g	塩……………	適量
淡口醤油……………	大さじ2	こしょう……………	適量
みりん……………	大さじ1	薄力粉……………	20g
砂糖……………	大さじ1	卵……………	20g
玉葱……………	1/2個	パン粉……………	50g
ハム……………	50g	揚げ油……………	適量

栄養価(2個分)

エネルギー……………	228kcal	水分……………	120ml	蛋白質……………	6g	脂質……………	11g	炭水化物……………	25.2g	食塩……………	1.6g
------------	---------	---------	-------	----------	----	---------	-----	-----------	-------	---------	------

作り方

- ①里芋は皮をむいて5～6等分に切り、洗ってから下茹でする
- ②鍋にAのだし汁と調味料を入れ火にかけ里芋を入れ落とし蓋をして汁気が無くなるまで煮含める
- ③玉葱、ハムは5mm角に切る
- ④煮上がった里芋が熱いうちにつぶす
- ⑤フライパンに小さじ1の油をひき玉葱、ハムを炒める
- ⑥④の里芋に⑤を加えて、塩コショウで味を調える
- ⑦⑥を等分して成形し、薄力粉、溶き卵、パン粉の順に衣をつける
- ⑧揚げ油を熱して揚げる

患者さま からの Voice



リウマチで整形にかかっていますが、診察前に事前に採血の検査に行かなければなりません。強制ではないにしろ、患者にとってとても負担です。病院を建て替える際には是非、検査室の充実も考えて下さい。診察に早めに来て採血し、その日のうちに結果がでるような体制にして下さい。



当院の臨床検査のシステム上、採血のためにご来院をいただくことになり、申し訳なく感じております。ご承知のこととは存じますが、血液検査の場合、検査項目によっては、結果が出るまでに日数を要するものがございます。当院では、施設・設備の制約等があり、検体検査等は検査会社に委託する方法をとっています。検査結果は、少しでも早く診療に活かせるよう検査会社からオンラインでデータが送信されるシステムを導入していますが、日数がかからない検査でも、採血後約半日の時間を要することになっています。

もし現状で、診察日に採血をし、当日に結果のでる項目だけでも院内で検査を行った場合、約5名の患者様の血液検査だけで一部の検査設備がいっぱいになってしまい、他の診療に來られた方や、緊急時の患者様への対応にも影響が出てくるおそれがございます。設備の充実に関しましては、かねてより患者様から同様のご意見を頂いており、検討を重ねて参りましたが、当院の実情では新本館建設後も、現状の検査体制を大きく変更することは難しい状態にあります。

上記の様な理由から、患者様にご不便をお掛けすることは誠に心苦しいのですが、診察前に事前に採血に来ていただくことについて、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

病院長

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診療科			月	火	水	木	金	土
内科	内科1(初診)	午前	山崎	佐藤	伊藤 揚	藤井	辻	高村
		午後	藤井	木下	松本	木下	立田	
	内科2(再診)	午前	木下	伊藤 浩	松尾	松尾	山崎	
		午後	松本	伊藤 浩		松本	山崎	
	内科3(再診)	午前				佐藤		
		午後			佐藤			
	内科4(再診)	午前		齊藤	中川		伊藤 浩	
		午後			立田		伊藤 浩	
	内科5(再診)	午前		伊藤 揚	谷口	伊藤 揚	谷口	
		午後	辻	井神	谷口		木下	
	外科	午前	当番医	曾我	猪飼	曾我	猪飼	当番医
	脳神経外科	午前				中北		
整形外科	整形1(初診)	午前	当番医	金本	岩切	金本	岩切	
		午後	ギプス装具外来					
	整形2(再診)	午前	岩切	リウマチ外来			金本	
		午後						
小児科		午前	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保
		午後	古久保	古久保		古久保	古久保	
婦人科		午前	國部	國部	國部			
		午後	國部	國部	國部	國部	國部	
皮膚科		午前						県立医大・京都大学
		午後		県立医大・京都大学				
眼科		午後			藤田			
耳鼻咽喉科		午後				県立医大		
循環器外来		午前		伊藤 浩			伊藤 浩	
		午後		伊藤 浩			伊藤 浩	
呼吸器外来		午前			松尾	松尾		
		午後						
アレルギー・呼吸器専門外来		午前			中川			
腎臓内科		午前		齊藤				
泌尿器科外来		午前	柏木	柏木	柏木	柏木	柏木	当番医
神経内科・ リハビリテーション専門外来		午前	小口	廣西	石口		小口	
		午後	廣西	石口		小口／森田		
緩和ケア外来(予約制)		午後			伊藤 浩			
心療内科 漢方外来		午後			立田			
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤 揚		伊藤 揚		
糖尿病専門外来		午後		井神				
消化器専門外来		午前	山崎		谷口		山崎／谷口	
		午後			谷口	木下	山崎	
循環器・高血圧専門外来		午前						有田(月2回)
関節専門外来		午前						休診

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日・祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00	
糖尿病外来(火)	14:00～16:00	14:00～16:00	
眼科(水)	12:00～14:30	12:30～15:30	
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30～11:00	9:00～12:00	
神経内科・リハビリテーション 専門外来(森田)	13:00～16:00	13:00～16:00	

※診療時間外(夜間・休日)に
具合が悪くなったときは、
日時に関係なく受付します
ので、白浜はまゆう病院へ
電話で連絡ください。



(財)白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 水本 雄三 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク
■鮎 川 診 療 所
■日 置 診 療 所
■三 舞 診 療 所
■川 添 診 療 所
■訪 問 看護ステーションたんぽぽ

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3

〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1

〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地

〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678

TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005

TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192

TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001

TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037

TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682